

10 一つのことに意識が向かうと周囲の状況がわからなくなるJさん

Jさんは、興味のあるものに気をとられてしまうと、周囲の状況が全く目に入らなくなることがあります。また、周囲の友達への意識も薄く、一人で自分の世界に浸っている場面も多くみられます。どう配慮していけば良いのでしょうか。

どうしてそうなるの？(考えられること)

- ◎興味のあるものへ固執してしまい、今やらなければならないことへの意識が薄れてしまうため
- ◎学習内容の理解ができず、興味ももてないため
- ◎教師や友達とかかわる機会が少ないため

合理的配慮・具体的な支援(例)

1 授業内容をわかりやすく提示する <①-1-1>

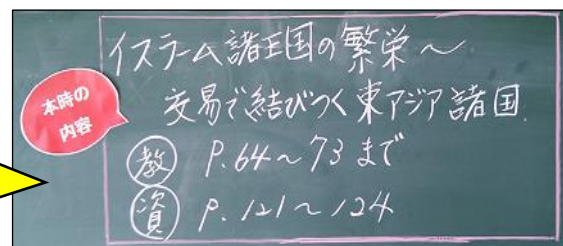
- 授業内容をわかりやすくしたり指示を明確にしたりして、学習に取り組みやすくする。
- 本時の授業内容や活動量を示して、終わりをわかりやすくする。

<input checked="" type="checkbox"/>	教科書P. 64を読む
<input checked="" type="checkbox"/>	資料集P. 121を見る
<input type="checkbox"/>	プリントに記入する
<input type="checkbox"/>	プリントが終わったら、先生の話聞く
<input type="checkbox"/>	わかったことを発表する
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	



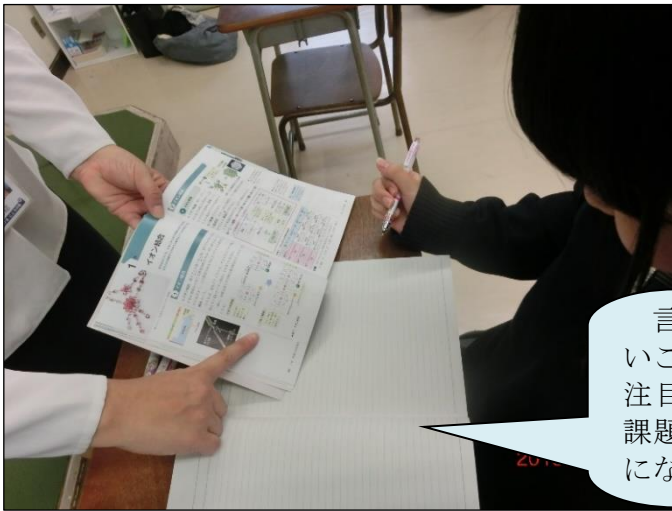
その時間の内容と順番を提示したことで、終わりがわかり集中する時間が長くなりました。

本時は「どこからどこまでやるのか」がわかるように、黒板の端にメモ書きします。



2 場面の切り替えができるよう促す <①-2-1>

- 集中が途切れ、やることがわからなくなっているときには名前を呼ぶなど、教師に注目してから言葉をかけることで、再び課題に集中することができるようにする。
- 次に行うことをメモして渡したり、教科書のページを開いて見せたりする等、やることを目で見てわかりやすくする。



言葉かけだけでは指示の通らないことが多かったのですが、教師に注目してから指示を伝えると再び課題に取り組むことができました。

3 教師や友達とかかわる場면을意図的に設定する

<①-2-1><①-2-3>

- 休み時間や放課後等に教師と意図的に話す時間を設定し、会話の楽しさを味わうとともに興味・関心の幅を広げる。
- ペアトークや小グループでの話し合いの機会を設定し、友達と話し合い、気持ちを伝え合う経験を重ねる。

周囲の友達も本人の状況を少しずつ理解することができるようになり、言葉を交わす機会が増えました。



11 特定の教科の学習をしないKさん

Kさんは、入学時から他の生徒に比べ欠席が少し多かったものの、吹奏楽部に入部し活動していました。しかし、1年生の後半に吹奏楽部を退部し、その頃から欠席が目立つようになりました。自分の興味のある行事には積極的に参加していますが、特定の教科の授業では集中が続かず、その教科の成績だけが極端に低い状況が続いています。どう配慮していけば良いでしょうか。

どうしてそうなるの？(考えられること)

- ◎自分の興味・関心にあることには過度に集中するが、別の物事に興味が移ると、それまで集中していたことへの関心が極端に薄れてしまうため
- ◎当該教科の学習内容に興味をもてず、授業中、他のことに関心が向いてしまうため

合理的配慮・具体的な支援(例)

1 教師の話に関心が向けられるような座席の配慮 <①-2-1>

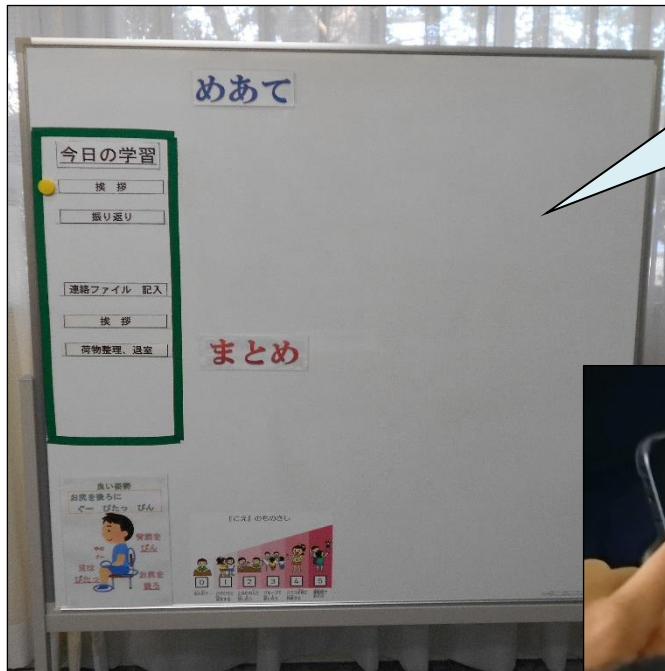
- 教師の話や授業内容など、必要な情報を取得しやすくするため、座席を最前列にする。



座席を最前列にしたことで、教師の話に注意が向くようになりました。
黒板の情報にも注目するようになりました。

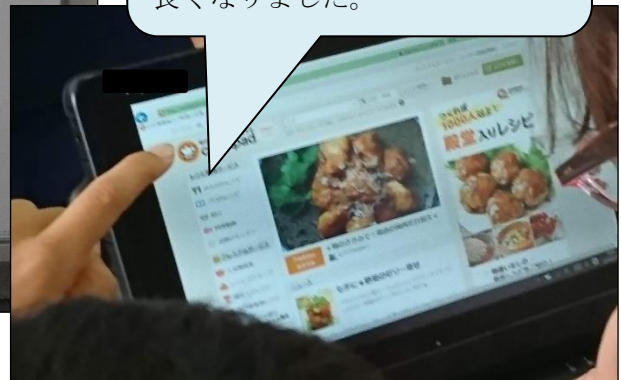
2 当該教科の課題の調整と毎時間の目標設定の確認 <①-1-2><①-2-1>

○当該教科の課題については、毎時間、本時のめあてを明確にし、Kさん自身は「何をどこまで達成するのか」を確認する。



毎時間「本時のめあて」「学習の流れ」「まとめ」を明確にしたことで、学習に見通しがもてるようになりました。

I C T機器の操作をしながら調べるなど、活動的な場面を取り入れたことで、集中が続く時間が長くなりました。



3 視覚情報の活用により、*ワーキングメモリの不足を補う <①-2-1>

○Kさんの視覚優位の特性を生かし、視覚情報を活用することで、教師の指示や学習内容などの情報取得を保障する。

*作業記憶、作動記憶で短い時間に情報を保持し、同時に処理する能力

板書とワークシート、ノートとの構成を一致させることを意識したことで、書くことへの抵抗感が軽減されました。



12 課題などの提出物の遅れや忘れ物があるLさん

Lさんは、課題プリントの提出が2日ほど遅れるなど、期限が過ぎてから提出する状況が続いています。その他にも、忘れ物が多く、注意されることが度々あります。どう配慮していけば良いのでしょうか。

どうしてそうなるの？(考えられること)

- ◎教師の話を自分のこととして聞いていないため
- ◎重要事項をメモ書きにする習慣が身についていないため
- ◎提出物、期限などを長期間記憶していることが難しいため

合理的配慮・具体的な支援(例)

1 話を聞くときの注意の集中を促す工夫をする <①-2-1>

- 話を集中して聞くことができるように、座席を前列や担任の目の届きやすい場所にする。
- 話をする前に「大事な話をします」などと、注意を引く。
- 話の内容を、端的にわかりやすく伝える。
- 視覚的にわかる注目カードを提示したり、アイコンタクトを取ったりしてから話し始める。



2 生徒の特性(視覚優位、聴覚優位等)に合わせた、メモの取り方の工夫ができるようにする

<①-1-1> <①-2-1>

- ノートや付箋、メモ用紙等に文字で書いて残す。
(横罫、方眼、無地等)
- パソコンやスマートフォンに入力し、文字として残す。
- 音声を文字に変換したり、録音したりして振り返ることができるようにする。
- 何が重要事項であることを示し、文章でまとめる、内容で書く、イラストで描く、図で書くなど、生徒が後で見返したときに、どの方法がわかりやすいかを確認して、工夫できるようにする。





メモを取るときに、キーワード等の内容とは別に、印象に残ったものも一緒に書き添えておくことで、見返しやすくなります。

生徒の実態に合わせて、本人がわかりやすいメモの取り方を見つけることができれば、メモを取ることも見返すこともしやすくなります。



3 持ち物や提出期限を確認しやすいための工夫をする

〈①-1-1〉 〈①-2-1〉

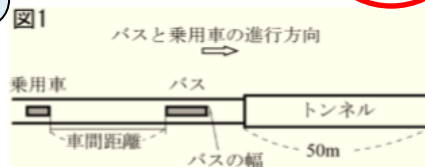
○提出期限前から、定期的に提出物の内容などを確認する。



一定期間前から、「〇〇を、〇日に提出してね」と言葉をかけ始め、「2日前よ」などと定期的に言葉をかけると効果的です。

自分から提出期限を気にするようになりました。

通しているところを、が、トンネルに入り始めると乗用車の、トンネルを m^2 とする。トンネル形は長方形であり、バスの幅として、あとの間



提出日
月 日

教科担当と相談し、プリント類に提出期限が記入できる欄を設けるようにしました。

その他、提出先、ナンバリングなどがされていることで、わかりやすくなることもあります。

4 整理がしやすい環境をつくる 〈①-1-1〉

○物の置き場所や持ち物確認のルールを決めておき、忘れ物がなくなるような仕組みや環境をつくる。

自分で意識して、忘れ物をなくそうとすることも大切です。しかし、それが本人の負担になることもあります。少しでも負担を軽減するために、スマートフォンのカレンダー、アラーム、リマインダー等の機能を活用する習慣を身に付けることも考えられます。